

支援のヒント

教材・教具名【教科】	「ダンボールたおしをしよう」【自立活動】
使用の目的（ねらい）	<ul style="list-style-type: none"> <li>・目的のところや対象物に向かって自分から腕や手指を動かそうとする力を育てる。</li> <li>・ダンボールが倒れたことや自分で倒したことを実感し、嬉しい気持ちやもっとやりたい気持ちを表出できるようにする。</li> </ul>
材料・入手方法	<ul style="list-style-type: none"> <li>・的…ダンボール、装飾用に切った画用紙、鈴</li> <li>・引っ張り紐…スズランテープ、リング、かばんの持ち手</li> <li>・補助具（ランプス）…ダンボール、割り箸</li> </ul>
教材・教具等の活用方法	<p>(写真)</p> <div style="display: flex; justify-content: space-around;"> <div style="text-align: center;"> <p>④</p>  </div> <div style="text-align: center;"> <p>③</p>  </div> <div style="text-align: center;"> <p>②</p>  </div> </div> <div style="text-align: center; margin-top: 20px;"> <p>①</p>  </div> <p>(説明文)</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>① ダンボールを倒す方法を決められるよう「おす」「ひっぱる」「ころがす」カードを使用。必要に応じ、具体物や身振りを取り入れるようにする。</li> <li>② 「ひっぱる」→スズランテープに持ち手を付けた紐を使用。</li> <li>③ 的…積み方によっては少しの衝撃で崩れるので取り組みやすい。</li> <li>④ 座位保持椅子等に座った状態でもボールを転がせるよう補助具（ランプス）をダンボールで作成。</li> </ol> <p>◎いくつかの方法から自分のやりたいものを決めて意欲的に取り組んだり、少ない支援でできるだけ自分の力でダンボールを崩したりすることができるよう、これらの教材を用いました。ダンボールは積み上げやすく、またその積み方の調整もしやすく、さらに落ちた時の衝撃により倒れたことややったことをより実感しやすいものとして、授業において活用することができました。</p>